

最新の医療材料を使う

2023年6月吉日
代表理事 大浦紀彦

AAAでは、毎月第1木曜日にcase study club (症例検討会) をzoomで開催しています。2023年の初回は、7月6日木曜日19時より開始いたします。今回のテーマは「最新の医療材料を使う」です。ここ数年で多くの生体医療材料が薬事承認され使えるようになりました。

最初に取り上げるのは、ヒト羊膜使用組織治癒促進用材料；EpiFixです。形成外科、美容領域では胎盤由来のプラセンタなどが使用されることがありますし、羊膜は角膜潰瘍に対して眼科領域でも10年ほど前から使用されています。

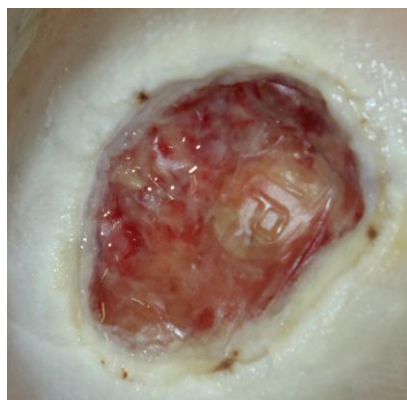
次に取り上げるのはRECELLです。少量の健常皮膚を採取し専用のキットで細胞レベルに分離し、自家細胞懸濁液を作製するものです。この懸濁液をスプレーで熱傷部位に噴霧します。最後に、この講演会でもしばしば取り上げるブタ小腸粘膜下組織；OASISです。創傷の治癒環境を整える、上皮化、創傷治癒を促進します。

これらについて、東京医科大学形成外科教授の松村先生、春日部中央総合病院下肢救済センター形成外科の寺部先生のお二人からお話を伺います。

開催日時：2023年7月6日(木) 19:00-21:00

参加費 無料

- | | | |
|----------|--------------------|---------|
| 1.EpiFix | 東京医科大学形成外科 教授 | 松村 一 先生 |
| 2.Recell | 東京医科大学形成外科 教授 | 松村 一 先生 |
| 3.OASIS | 春日部中央総合病院 下肢救済センター | 寺部雄太 先生 |



参加申し込みは右QRコード
または下記URLより登録してください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_XkPmz14lTnCVUNTlBlAJMQ



[Theater - Act against Pressure Injury](#)

